高等学校 × 数学・理数

数学・理数どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 8項目　解説PDF 1件



10秒でいうと

数学Ⅰに「社会を読み解く数学」等を加え最大8新単位程度に。数A・B・Cは1科目に統合する案

高校の数学は、科目の組み立てが変わる案です。必履修の数学Ⅰに「数学ガイダンス」と「社会を読み解く数学」を新しく入れる方向です。そのため数学Ⅰは最大8新単位程度とし、数学Ⅱは6新単位に減らす案です。数学A・B・Cは一つの新しい選択科目にまとめる案です。新科目の名前は「数理活用」などが例としてあげられ、まだ決まっていません。

どこが変わる？現行⇔次期（高等学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

高校数学の選択科目

現行

数学A（図形の性質、場合の数と確率、数学と人間の活動）、数学B（数列、統計的な推測、数学と社会生活）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面、数学的な表現の工夫）の3科目（各2単位）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

3科目を**1つの新科目に統合**する案で、内容を「場合の数と確率」「統計的な推測」「**行列**」「数列」「幾何ベクトル」「複素数と複素数平面」の6つに整理。名称は「**数理活用（仮称）**」などの案があり、2〜12新単位。

P171 P172 P80 P82 ※現行の科目内容・単位は資料編m2 P218・P220。現行の履修率は数学A 87%、数学B 45%、数学C 34%（資料編m2 P219）。「数学と人間の活動」「数学と社会生活」などは数学Ⅰ「数学ガイダンス」「社会を読み解く数学」や理数科の解説の事例へ移す案（資料編m2 P213）

数学Ⅰ（必履修）の内容と単位数

現行

数と式、図形と計量、二次関数、データの分析。3単位。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

これに「**数学ガイダンス**」と「**社会を読み解く数学**」を加える案。単位数は**最大8新単位程度**（現行の1単位分ほど増）。

P171 P172 P81 P82 ※現行の内容は資料編m2 P220。1新単位＝17コマ（現行1単位＝35コマ）

数学Ⅱの単位数

現行

4単位（数学科で唯一の4単位科目）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

内容の他科目への移行や**精選**を行い、**6新単位（3単位）**に減らす案。

P172 P81 P82

学習内容の区分の仕方

現行

小学校算数・中学校数学は「領域」、高校数学は「項目」という名前で区分。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

小学校算数～高校数学Ⅰまでを、共通の**6つの「分野」**（数と式、図形、変化と関係、データと確からしさ、**論証**、**社会を読み解く数学**）で整理し、さらに「区分」に分ける方向。

P167 P170

見方・考え方

現行

事象を「数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え」、「論理的、統合的・発展的に考える」こと。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「事象や**言説**を**数理の視点**から捉え、論理的、統合的・発展的、**批判的**に考察すること」。小・中・高で文言を統一する案。

P169 ※現行・改訂案の並記は資料編m2 P183（算③）。「批判的」は建設的な目的の意味と解説で示す

中学・高校の「数学ガイダンス」

現行

新設の内容のため現行の対応する記述なし（本文では入学時の「数学開き」の実践を参考にするとある）

→

次期（審議まとめの案・告示前）

数学全体の**見取り図**と、数学と**社会・職業との関係**を学ぶ内容を中学校と高校（数学Ⅰ）に**新設**する方向。総授業時数は増やさないことが前提。

P167 P171

数学的活動の位置付け

現行

これまでの学習指導要領で、
算数科・数学科の学習過程として
位置付けられてきた。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「数学的活動」を個々の学習内容として規定するのではなく、
教科全体を通じて充実に
取り組む旨を規定すべきとされた。

P178

評価規準づくり

現行

各学校が、内容のまとまりごとの
評価規準、単元の目標、単元の
評価規準を作成。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「内容のまとまりごとの評価規準例」は**国が示し**、学校での**作成は不要**にする方向。算数・数学の「内容のまとまり」は**「区分」ごと・学年ごと**の「内容」とする方向。
単元の目標がそのまま単元の
評価規準になる考え方。

P179

現行の解説を読む（公式PDF）

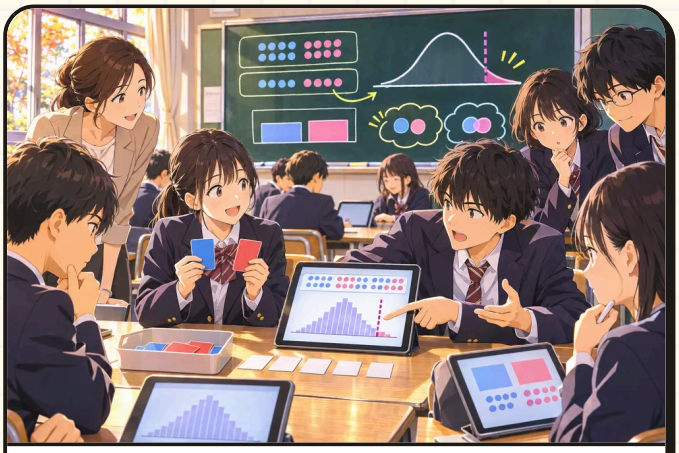
いまの高等学校の数学・理数の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **数学編 理数編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 数学編 理数編

学習指導要領の本文

PDF **高等学校学習指導要領（平成30年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

高等学校の数学・理数の指導案（試案）



高 数学Ⅰ 1年

データで主張を確かめる

本時のねらい 「好みに差がない」と仮定したときに結果が起こる程度を実験とシミュレーションで調べ、それを基に主張の妥当性を判断するとともに、その…

指導案を見る →

もっとくわしく

数学・理数の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 高等学校の先生へ
資料室（高等学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで

該当ページが開きます）。